

山梨近代人物館「日本の発展に貢献した山梨の人々」

山梨なるほど情報

発行：山梨県広聴広報課 ☎055-223-1339

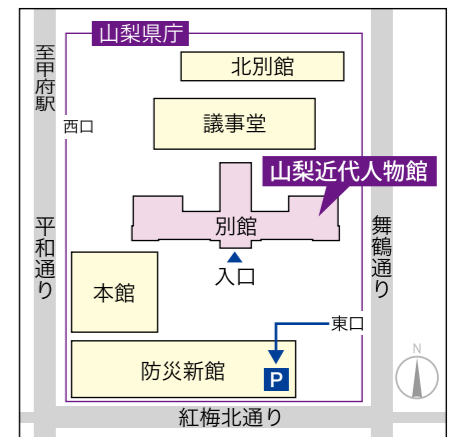
日本の近代化の光と影の中で、生活や産業の発展に貢献し、その礎を築いた山梨の先人たち。彼らがもたらした事業や根本となった哲学は、現在でも私たちの社会や生活の中に息づいています。県庁別館にある山梨近代人物館では、時代が求め、人々が必要とするものを見抜く先見性や、公益性を行動原理としていた、山梨ゆかりの9人の生涯と功績を、資料とともに紹介しています。

- 八田 達也(1854-1916) 養蚕技術改良に尽力したほか、養蚕業者の組織化を推進
- 石橋 湛山(1884-1973) 第55代内閣総理大臣を務め、退任後は中華人民共和国との国交回復にも尽力
- 小林 一三(1873-1957) 阪急グループの創設者で、鉄道を拠点とした都市開発モデルを生み出す
- 栗原 信近(1844-1924) 山梨中央銀行の前身である「興益社」を設立し、産業の近代化に尽力
- 名取 雅樹(1814-1900) 山梨の機械製糸業の第一人者。県勸業製糸場の建設と運営に取り組む
- 根津嘉一郎(1860-1940) 全国の鉄道会社経営に手腕を発揮した「鉄道王」。文化振興にも貢献
- 早川 徳次(1881-1942) ロンドンで地下鉄事業を学び、東洋初となる地下鉄を開業した「地下鉄の父」
- 小川 正子(1902-1943) ハンセン病患者救済に尽力した医師。体験記『小島の春』は映画化された
- 内藤 多仲(1886-1970) 東京タワー、大阪通天閣などを設計した「耐震構造の父」「塔博士」



人物紹介室 半年ごとに展示を替え、テーマに沿った人物9人を詳しく紹介しています。

山梨近代人物館
山梨県庁舎別館2階(甲府市丸の内1-6-1)



■ 開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日：第2・4火曜日 / 年末年始

■ 入館料：無料

■ 問い合わせ先：TEL 055-231-0988
FAX 055-231-0991

山梨近代人物館

山梨近代人物館を探検してみよう！



導入展示室

山梨の自然や風土、文化に関する映像とともに、明治時代から戦前にかけて活躍した山梨ゆかりの人物50人の功績や、残した言葉などを紹介しています。

管子隧道物語

プロジェクションマッピングで、館内の管子トンネルが語りかけます。次々と変わる映像で、その歴史的意義に迫ります。



子ども向け展示

パネルクイズ「ひらいて まわして やまなしのこの人だ〜れ？」や、タッチパネルで答えるクイズ「ふるさと人物伝」で、人物の生涯を学習できます。



旧知事室(上)・正庁(右)

山梨の発展を支えた先人たちの思いが詰まった文化遺産・県庁舎別館に整備した近代人物館に、創建当時(昭和5年)の姿で復元しています。正庁では、近代人物館主催の講座や県の式典など、さまざまな行事を開催しています。

